アリアケ海岸プロジェクト

～未来のまちに生命のゆりかごを～

平成２６年　１月１４日
発表者　３年　水原　健

本日の内容

- メンバー紹介
- 目標と目的
- 今年度の活動
  - *有明北地区汐入り及び東雲運河水質調査
  - *11月23日東京湾大感謝祭
  - *12月7日第11回横浜・海の森フォーラム
- 今後の予定
- 今後の展望
- 終わりに



メンバー

３年　10名

- 井上　由樹子
- 金吉　真伸
- ショウ・ブンケイ
- 鈴木　喜大
- 藤山　直音
- 水原　健
- 山本　侑妹
- 横山　拓也
- 吉田　千夏
- 吉田　徳子



２年　９名

- 飯塚　諒
- 伊藤　綾香
- 伊藤　匡章
- 北澤　充
- 田中　啓示
- 松本　莉紗
- 矢崎　賢吾
- 山本　海
- 山本　菜月



目的と目標

【目的】

- 臨海副都心における水辺環境の改善。
- 昔は豊かであった東京湾の姿を取り戻し、生命感のあふれる豊かな海にすること。また海岸清掃等も行い、誰もが気軽に接することができ、気持ちよく感じる海づくりをすることで、地域に還元する。

【目標】

- 海辺のビオトープをつくる。
- 埋め立てにより失われた干潟を再生することで、アサリなどかつて東京湾に多く生息していた生き物の生息環境をつくる。

今年度の活動

前期

5/21	谷津干潟モニタリング
6/1	谷津干潟の日記念シンポジウム
6/2	アマモ花枝採集@八景島
6/8	谷津干潟市民生態調査
6/9	谷津干潟ラムサール条約登録記念シンポジウム
6/11	有明北地区汐入り見学
6/25	アマモ採集@海の公園
6/25	ゴミ拾い@葛西臨海公園
7/20	西なぎさ発東京里海エイドごみ拾い@葛西臨海公園
8/3	アマモ種子選別@城ケ島
8/5~8	東京都島しょ農林水産総合センター見学@八丈島
8/22	ゴミ拾い@水の広場公園

後期

11/3	アマモ種まき会準備@金沢八景琵琶島神社
11/9~10	黎明祭出展
11/16	投網による生態調査@葛西臨海公園
11/17	アマモ種まき会@金沢八景琵琶島神社
11/23	東京湾大感謝祭
12/7	海の森フォーラム@横浜市立大学
12/12~14	エコプロダクツ出展
12/14	環境学部親睦会
12/21	お台場海苔つくり

通年

- 有明北地区汐入り及び東雲運河水質調査

調査期間　７月９日～１２月１７日

有明北地区汐入り及び東雲運河水質調査

有明北地区汐入りに立ち入る目的

✓直立護岸に囲まれた中にある数少ない浅場の水質・透明度を定期的に調べる。
✓臨海副都心部は生き物にとって住みやすい環境なのかを知る。
✓臨海副都心部における海辺の様子を知る。

なぜ汐入りか？

✓有明北地区の汐入りは臨海副都心部における数少ない浅場であるから。
✓また潮間帯がはっきりと現れるから。
✓直立護岸(カニ護岸)を備え水深のある東雲運河と、水深の浅い汐入り内との比較調査ができる。

有明北地区汐入り及び東雲運河



場所：江東区有明１－９
　　徒歩約15～20分

概要：有明北地区における水際線は周辺の土地利用や自然豊かな「旧防波堤」周辺の環境を残しながら、自然の再生に配慮しつつ誰もが近づけ、親しめる開放感のある公共空間となるよう整備する。また、近自然型ブロックを備えた護岸（カニ護岸）、海の生物に触れ合え自然に親しめる汐入り、干潟機能をもった緩傾斜護岸などを設け、環境に優しい空間を創出する。

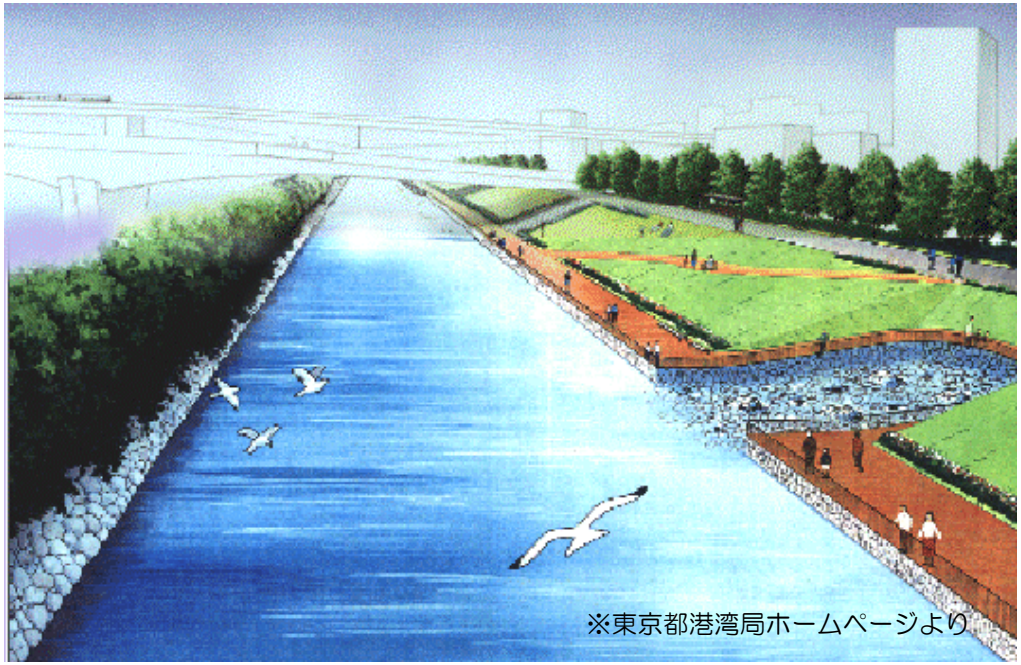
※有明北地区まちづくりガイドラインより











※東京都港湾局ホームページより

調査方法

- 水質調査(塩分濃度、水温、溶存酸素濃度)

  採水缶で採水し、塩分濃度計測器でデータをとる。

  水温および溶存酸素濃度は溶存酸素計で測る。

- 透明度調査

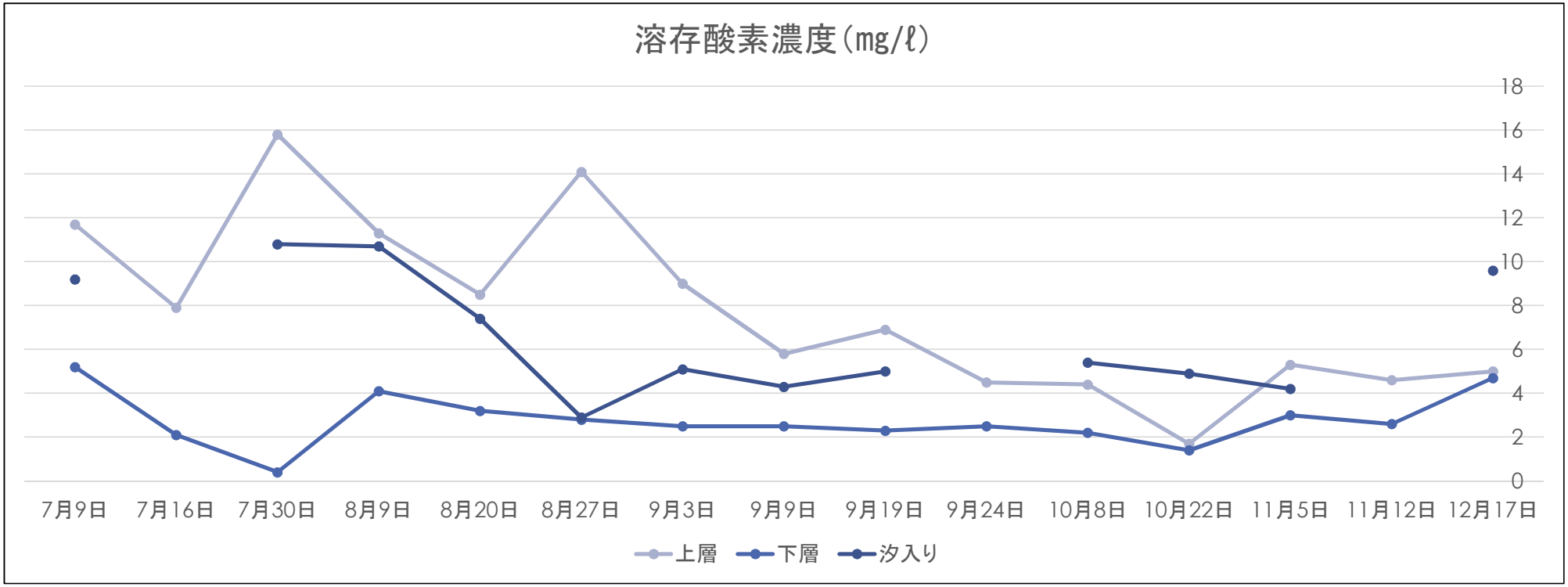
  透明度板を用いて海中の透明度を測る。







調査結果


溶存酸素濃度(mg/ℓ)
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
7月9日
7月16日
7月30日
8月9日
8月20日
8月27日
9月3日
9月9日
9月19日
9月24日
10月8日
10月22日
11月5日
11月12日
12月17日
上層
下層
汐入り

東京湾大感謝祭
11月23日@青海タイム２４

　東京湾のシンボルである「江戸前」の再興にむけた取り組み、生き物の生息場を再生する取り組み、東京湾再生への関心を喚起・啓発することを目的に開催された。

　アリアケ海岸は市民団体のブースでパネル展示を行った。

　午前中は東京湾に関わる企業、研究者、水産関係者、レジャー関係者、NPO、市民、行政等の様々な関係者がその英知を出し合い、共に連携協働し、楽しみながら環境再生の取り組みを行い、新しい文化を育てていくための場として「東京湾再生官民連携フォーラム」が設立され、決起集会が行われた。




東京湾再生官民連携フォーラム設立総会




神奈川
千葉







第１１回 横浜・海の森フォーラム
１２月７日@横浜市立大学

主催の金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議をはじめ、漁業組合や企業、そして今回参加した我々アリアケ海岸など、海に関わる方々の意見交換の場となった。アリアケ海岸プロジェクトは、有明北地区及び汐入りにおける水質調査について発表した。

小規模でありながら、内容の濃い一日となった。

当日の登壇者

・「埋立て前の小柴の海と、小柴漁協の変遷」
　小山新次郎（横浜市漁業協同組合　柴支所長）
　工藤孝浩（金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議）
・「海の公園造成の歴史」
　小幡正雄（金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議）
・「海の公園のアマモ場、再生されたアマモ場の維持・管理
　清水健二（横浜市南部公園緑地事務所　所長）
・「有明の海辺での活動」
　水原健（武蔵野大学アリアケ海岸プロジェクト）
・「柴漁港におけるアマモ種苗生産と琵琶島におけるアマモ場再生」
　工藤孝浩、今井忠章（金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議）
・「ベイサイドでの国・漁港の事業の話」
　木村尚（金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議）
・「海の公園アマモ場でのブルーカーボン事業」
　八千代エンジニヤリング株式会社

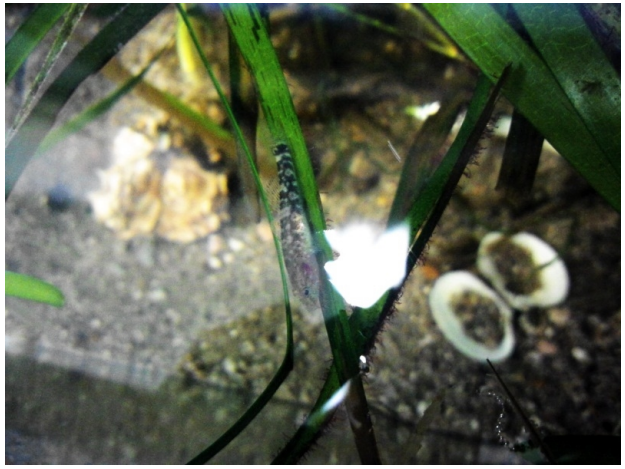
今年度の協働先

- 東京都港湾局臨海開発部開発整備課
- 東京都港湾局臨海地域管理課
- NPO法人海辺つくり研究会
- お台場海苔づくりの会
- 金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議
- DEXTE-K
- 谷津干潟自然観察センター

水槽も作ってみました。











アマモ水槽現在稼働中！！

今後の予定

【後期】

- お台場海苔作り参加（1/18、2/1）

【来年度】

- 有明北地区汐入り及び東雲運河水質調査
  ※港湾局の了承済み
- NPO等他団体との協働



今後の展望

昨年、２０２０年東京オリンピック開催が決定した。それに伴い、有明北地区埋立地は会場設営のため今後大規模な工事が予想される。

そのため再来年度以降、有明北地区での活動が困難となるかもしれない。しかし、会場設営と同時に、東雲運河沿いが整備され、一般の人に解放される。汐入りもその一つとなる可能性が高い。汐入りは有明北地区にいくつもある。そのうちの一つをアリアケ海岸としたい。









終わりに

【プロジェクトを通して得たこと】

- 自然の大切さ
- 人との繋がりの大切さ
- 協力することの大切さ

【課題】

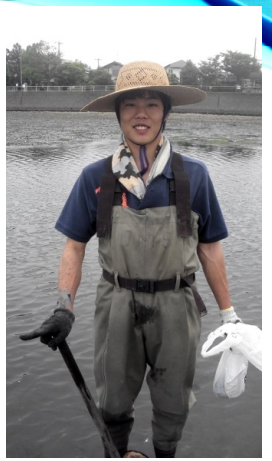
- メンバー全員の共通意識をもっと強く持つこと
- 一人一人がしっかり考え活動すること















アリアケ海岸
























ご清聴ありがとうございました！！